

# 脱炭素技術先導拠点「ZET-valley」の形成に係る支援について

【担当省庁】内閣官房、内閣府

京都府では、脱炭素テクノロジー（ZET:Zero Emission Technology）関連のスタートアップ企業や大企業等の交流から、事業共創プロジェクトを生み出し、まちづくりへの技術導入等を促進する、脱炭素をテーマとした世界に伍するスタートアップ集積拠点「ZET-valley」の形成に向けて取り組んでおり、以下について支援いただきたい。

- グローバル・スタートアップ・キャンパス構想における脱炭素関連分野（バイオ、AI等）のオープンイノベーションや実証実験拠点として、サテライトキャンパスを京都府内に整備

## 【現状・課題等】

- 令和2年7月、国の「世界に伍するスタートアップ・エコシステム拠点形成戦略」における「グローバル拠点都市」に、京都府が大阪府、兵庫県とともに選定
  - ▶年間起業支援プログラム（令和3年度） 221件、4,125名
- 特に、脱炭素社会の実現に必要な、スマートモビリティ（EV等）、バッテリー、バイオものづくり等の分野において、スタートアップ企業を中心とした事業開発が進行中（府の補助事業等で支援）
  - ▶スタートアップ企業数（令和5年2月末時点） 501社
    - <内訳>バイオ等133社、AI等131社、バッテリー・EV・半導体等110社
- 各構成要素における個別の開発のみならず、社会実装に向けて、それらを組み合わせ、ロードマップを描き、実証・実装を促進する、地域主導の産学公金連携推進組織への財政支援がない。また、世界に先駆けて脱炭素関連の新技术を作り出す、分野融合の新技术創出先導拠点が無い。

京 都 府 の担当課	商工労働観光部 ものづくり振興課(075-414-5103)
---------------	--------------------------------

**【国の事業等】**

■「スタートアップ育成5か年計画」（令和4年11月制定）〔内閣官房〕

4. 第一の柱：スタートアップ創出に向けた人材・ネットワークの構築

(7) グローバルスタートアップキャンパス構想

- 日本の大学・研究機関の人材・研究シーズのグローバル展開にも資するよう、海外トップ大学の誘致、優秀な研究者の招へい等により、ディープテック分野の国際共同研究とインキュベーション機能を兼ね備えた、官民の資金導入によるグローバルスタートアップキャンパスを創設する

**【京都府の取組】**

■ZET-valley 推進事業費 13 百万円

- ▶ 国内外の脱炭素テクノロジー（ZET:Zero Emission Technology）関連スタートアップ企業や脱炭素関連企業の集積を図るため、大企業・自治体・住民とスタートアップ企業等が共創し、ゼロカーボンまちづくりを実現する「ZET-valley」の形成を推進

■グローバル・スタートアップ・エコシステム構築事業費 50.8 百万円

- ▶ オープンイノベーションの基盤となる外国人起業家等が集積するダイバーシティの推進と世界レベルの海外進出推進環境の整備により、グローバル・スタートアップ・エコシステムを構築

■起業するなら京都・プロジェクト推進事業 129 百万円

- ▶ スタートアップ創出から成長発展までステージに応じた支援を、国や京阪神で連携しながらオール京都で体系的に実施